

# 海水浴場水質調査



金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月（海水浴場開設前）及び7月（開設中）に環境省の依頼により検査を行い、調査結果を報告しました。

海水浴場水の採水は、健康福祉局生活衛生課が金沢福祉保健センター、環境創造局および公益財団法人横浜市緑の協会の協力を得て行いました。

## 1 対象施設及び試料

(1) 対象施設：「海の公園」海水浴場

(2) 採水日：平成27年5月11日・12日及び7月6日・7日・9日・13日・14日・15日

(3) 試料：「海の公園」沖3地点で、1日に2回（午前・午後）採水した海水。なお、7月9日は午前のみ採水。8日間で計45試料。

## 2 検査項目

水質評価項目および参考検査項目を表1に示しました。

表1 検査項目

検査担当	水質評価項目	参考検査項目
福祉保健センター	油膜の有無、透明度	水温、気温、透視度、臭気等
衛生研究所	ふん便性大腸菌群数、 化学的酸素要求量(COD)	腸管出血性大腸菌O157、 一般細菌数、pH

## 3 検査方法

環境省通知で定められた方法で実施しました。

## 4 検査結果と判定区分

水質評価項目と参考検査項目の水質検査結果は表2のとおりでした。5月11日・12日の2日分12試料の検査結果を用い、環境省通知で定められた方法で報告値を算出しました。その報告値を水浴場水質判定基準(表3)によって「適(水質AA、水質A)」、「可(水質B、水質C)」、「不適」に区分したところ、今年度5月の判定区分は「可(水質B)」でした。7月は降雨が多く、ふん便性大腸菌群数が1,000個/100mLを超える日が続きました。その後天候が回復し、環境創造局が7月21日・22日に水質の改善を確認しました。

なお、昨年度は5月・7月ともに「可(水質B)」でした。

表2 「海の公園」海水浴場の水質検査結果

検査項目	5月		7月					
	11日	12日	6日	7日	9日	13日	14日	15日
油膜の有無	無 *1	無 *1	無 *1	無 *1	無 *1	無 *1	無 *1	無 *1
透明度(m)	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	2未満	2未満~8	440~ 5,200	500~ 5,700	400~ 13,000	140~ 1,700	220~ 11,000	50~130
COD(mg/L)	2.6~3.8	3.3~4.1	3.1~4.5	4.0~5.3	3.9~4.0	3.5~4.6	2.1~3.1	2.0~3.5
腸管出血性大腸菌O157 (/3,000mL)	不検出	—	不検出	—	—	—	不検出	—
一般細菌数 (cfu/mL)	1~3	1~4	840~ 2,600	380~ 4,900	170~ 6,400	21~ 1,200	20~ 1,600	11~180
pH	8.4~8.6	8.4~8.6	8.1~8.2	8.3~8.4	8.1~8.3	8.2~8.5	8.0~8.1	8.0~8.3

\*1:「認められない」

表3 「海の公園」海水浴場の環境省への報告値および水浴場水質判定基準

検査項目	環境省への報告値	水浴場水質判定基準				
	5月					
水質判定区分	可 水質B	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
油膜の有無	無 *1	無 *1	無 *1	無 *2	無 *2	有 *3
透明度(m)	1.0以上	1.0以上	1.0以上	0.5以上 1.0未満	0.5以上 1.0未満	0.5未満
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	2未満	2未満	100以下	400以下	1,000以下	1,000超
COD(mg/L)	3.5	2以下	2以下	5以下	8以下	8超
腸管出血性大腸菌O157 (/3,000mL)	不検出	—	—	—	—	—
pH	8.4~8.6	—	—	—	—	—

\*1:「認められない」、\*2:「常時は認められない」、\*3:「常時認められる」

【 理化学検査研究課 水質担当 】